

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月05日

計画の名称	亀岡市における公共下水道整備の促進														
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	亀岡市														
計画の目標	快適な生活を支えるまちづくりの一環として、健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全を図るため下水道の整備を推進します。また、民間との連携による消化ガス発電実施を検討します。														
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		546	A	546	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	全体計画区域内における処理区域面積の拡大			
	面整備率（全体計画処理面積に対する供用開始面積累計の割合） （供用開始面積の累計(ha)） / （全体計画の計画処理面積(1,770ha)） × 100	67%	68%	68%
2	亀岡市年谷浄化センター（終末処理場）の高度処理化実施			
	高度処理化実施率（全体計画処理能力に対する高度処理化実施分処理能力の割合） （高度処理化実施分の処理能力（m3）） / （全体計画の処理能力（33,400m3）） × 100	0%	18%	36%
3	亀岡市年谷浄化センター（終末処理場）における消化ガス利活用計画策定検討事業			
	消化ガス利活用計画策定率（消化ガス発生施設に対する消化ガス利活用計画策定状況の割合） （消化ガス利活用計画策定施設数（処理場数） / 消化ガス発生施設数（処理場数）） × 100	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	管渠（ 污水）	新設	稗田野・吉川地区污水管 の整備	污水管 φ=200mm L=1,549m MP	亀岡市	■	■	■	■	■	58		-
	A07-002	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	終末処 理場	改築	亀岡市年谷浄化センター 高度処理化対策	水処理施設（反応槽：B系及 びC系）の高度処理化対策	亀岡市	■	■	■	■	■	482		-
		高度処理化																	
	A07-003	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	管渠（ 污水）	新設	本町地区污水管の整備	污水管 φ=400・75mm L=1, 070m MP	亀岡市		■	■			0		-
	A07-004	下水道	一般	亀岡市	直接	-	終末処 理場	新設	亀岡市年谷浄化センター 消化ガス利活用計画策 定検討	PPP/PFI手法の活用を前提と した消化ガス利活用検討	亀岡市			■			6		-
		地域活力																	
											小計						546		
											合計						546		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 亀岡市上下水道部下水道課において実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 市ホームページ上にて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 稗田野・吉川地区の下水道管渠整備によって、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る目的を達成する条件準備ができた。 ・ 亀岡市年谷センターにおける高度処理施設の導入によって、河川や下流水域の水質の向上に寄与している。 ・ 亀岡市年谷浄化センターにおけるPPP/PFI手法の活用を前提とした消化ガス利活用検討を行い、消化ガス発電事業を行う準備ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

令和２年度から令和6年度（５年間）の社会資本総合整備計画を策定し、引き続き下水道の整備を推進します。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	面整備率		
	最 終 目標値	68%	
	最 終 実績値	68%	
2	高度処理化実施率		
	最 終 目標値	36%	
	最 終 実績値	36%	
3	消化ガス利活用計画策定率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

亀岡処理区

全体計画 約 764 ha
都市計画決定区域 約 529 ha
事業計画区域 約 358 ha

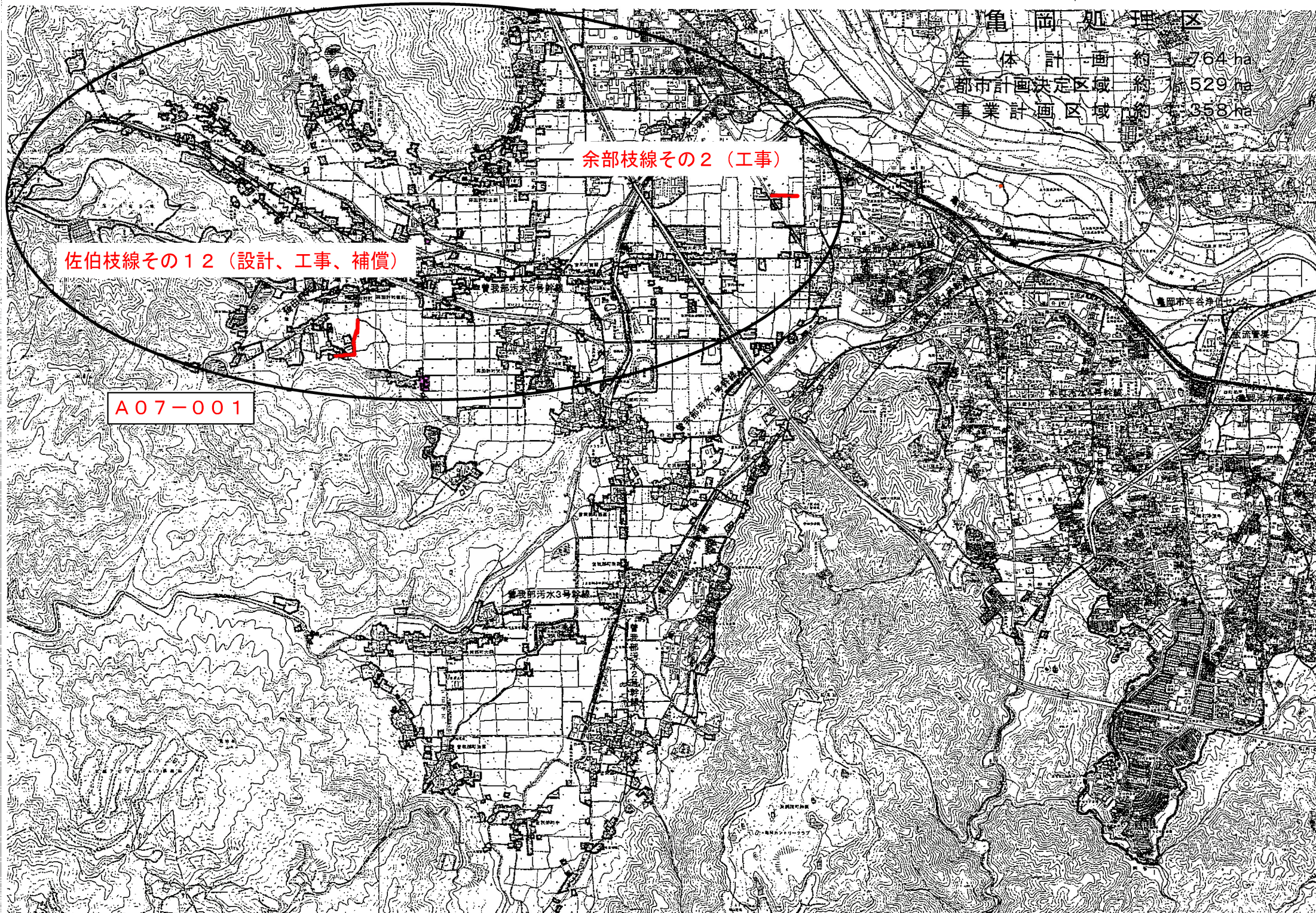
余部枝線その2 (工事)

佐伯枝線その1 2 (設計、工事、補償)

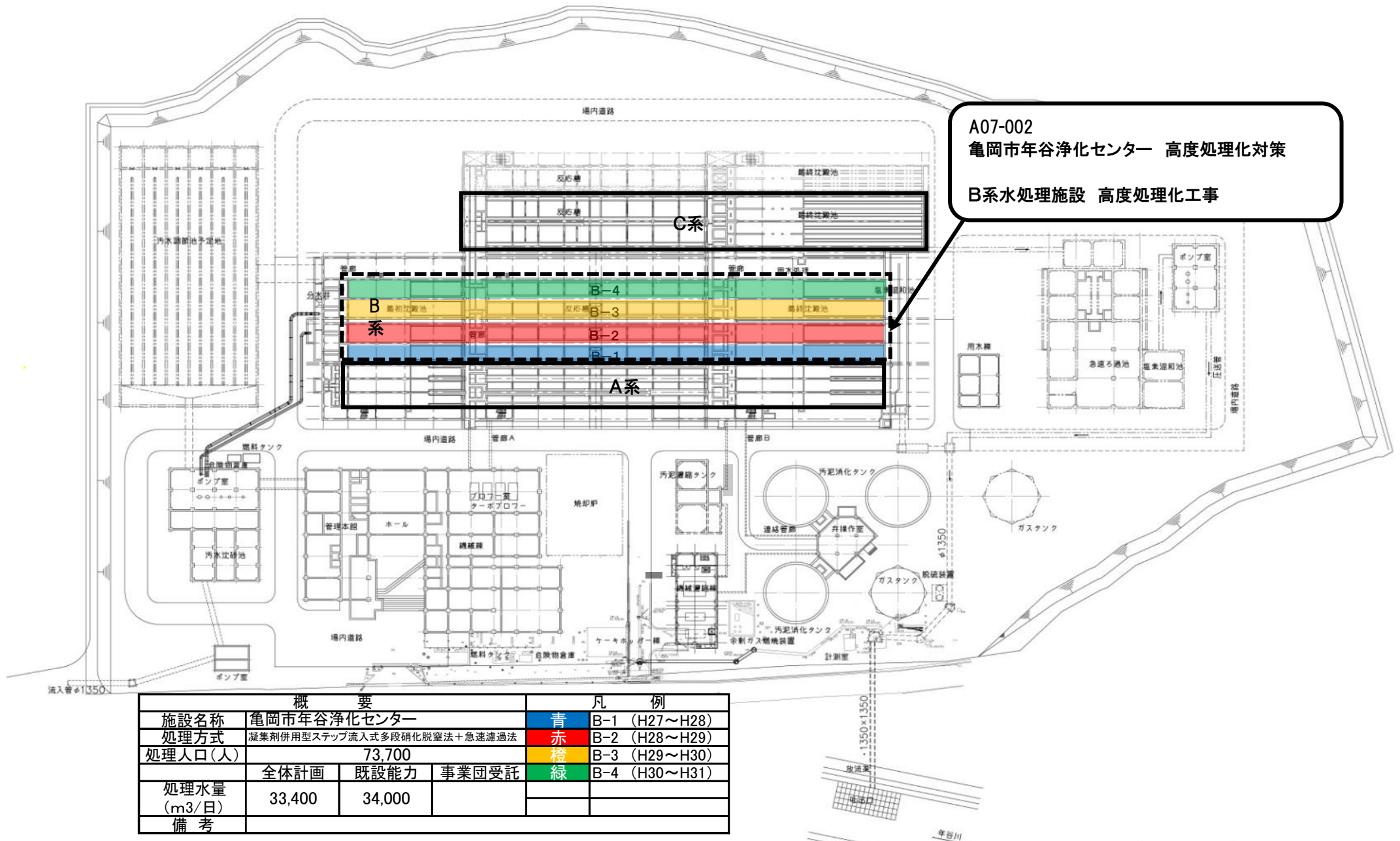
A07-001

佐部汚水3号管線

亀岡市浄化センター

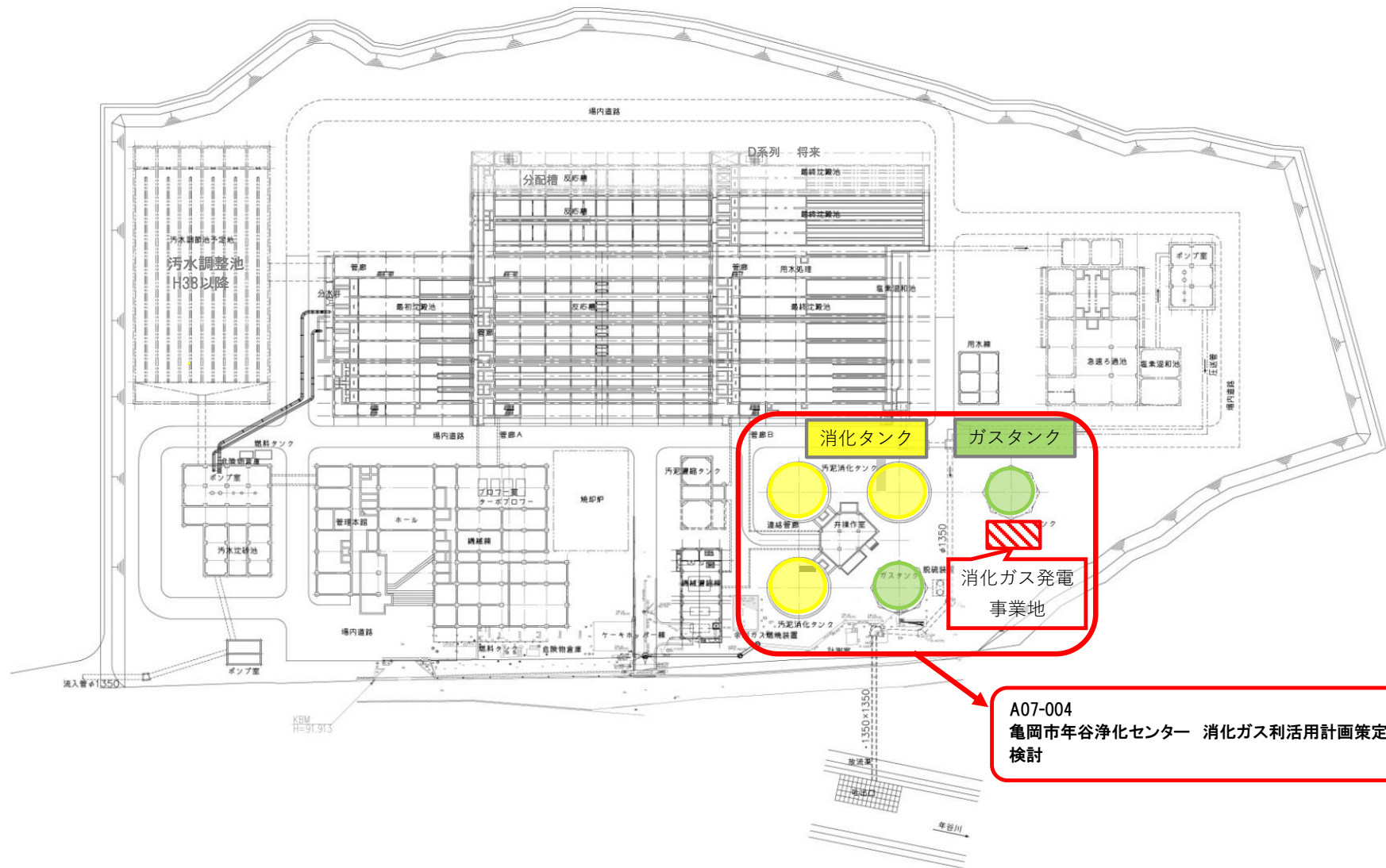
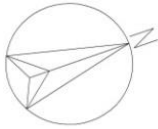


亀岡市年谷浄化センター



概 要				凡 例	
施設名称	亀岡市年谷浄化センター			青	B-1 (H27~H28)
処理方式	凝集剤併用型ステップ流入式多段硝化脱窒法+急速濾過法			赤	B-2 (H28~H29)
処理人口(人)	73,700			橙	B-3 (H29~H30)
	全体計画	既設能力	事業団受託	緑	B-4 (H30~H31)
処理水量 (m3/日)	33,400	34,000			
備 考					

計画一般平面図 S=1:600



A07-004
亀岡市年谷浄化センター 消化ガス利活用計画策定
検討